

手話を覚えてレッツコミュニケーション! Vol.7

問い合わせ／障がい福祉課障がい福祉担当（内線2678・FAX 541-1328）

鴻



指先を前に向けた人差し指と親指を口元に置き、2～3回指を合わせる（こうのとりがくちばしを開閉する様子）。

巢



人差し指・中指・薬指を立てて胸の前に置き、「く」の字を書く（巢の旧字体である「巢」の「く」の部分を表す）。

市



手の甲を相手に向け、指先を真横にし、小指と薬指は握る。
※50音の「シ」を表す指文字

方言のように地域によって表現が異なるため、「鴻巢」という手話は、県外の方には伝わらない場合があります。その際は50音の指文字を使い1文字ずつ表します。



手話は言語です。英語や中国語のように、1つの「言語」として手話があります。海外で日本語を話せる人に会うと嬉しく感じることに同じように、自分たちの手話が通じると大変喜ばしく、助けにもなります。

「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」の一言であっても、手話で表現すると、耳が聞こえない方にとっては嬉しいコミュニケーションになります。恥ずかしがらずにどんどん手話を使ってみましょう。

市制施行65周年記念事業

障がい者スポーツ・レクリエーション大会 参加者及びボランティアを募集

障がい者と家族、ボランティアの皆さんが、お互いに交流を深めながら、健康増進と社会参加の促進を図ります。

とき／10月19日(土) 10時～12時30分（受付＝9時15分～）

※ボランティア＝8時30分～12時45分

ところ／総合体育館

対象／障がい者と家族及びボランティア希望者

種目／風船バレー・卓球バレー・フライングディスク・玉入れ・パン食い競争（予定）

費用／無料 持ち物／動きやすい服装、室内用靴等

申込み／9月6日(金)までに、障がい福祉課又は両支所福祉グループに備えの申込書（市ホームページにもあります）に必要事項を記入し同所

問い合わせ／障がい福祉課障がい福祉担当（内線2678・FAX 541-1328）

